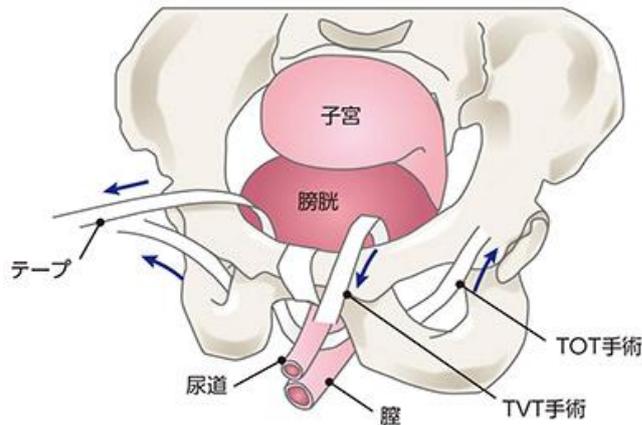


## 腹圧性尿失禁に対する尿道スリング手術（平均入院期間：3日）

女性の正常な身体では、おなかに強い力（腹圧）がかかった場合、「骨盤底筋」



という筋肉が膀胱と尿道を支えることで、尿道が締まり、尿が漏れるのを防いでいます。腹圧性尿失禁（尿漏れ）は、この骨盤底筋が弱くなったり傷んだりすることによって、尿道をうまく締められなくなり、尿漏れを起こす病気です。咳をする、くしゃみをする、笑う、走る、スポーツをする、重い物を持ち上

げるなどの動作でもれます。

腹圧性尿失禁の治療の中心は、「骨盤底筋体操」です。緩んでしまった骨盤底筋を鍛えて、臓器が下がるのを防ぎ、尿道や肛門を締める力やコントロールする力をつけることで、尿漏れを防ぐ方法です。薬による治療では、尿道を引き締めるはたらきがある薬（ $\beta$ 受容体刺激薬）などを用いますが、それらの効果がない場合は、尿道を吊り上げる方法（尿道スリング手術）を行います。2泊3日の入院で、手術時間は30分程度です。長く悩むより、まずは一度ご受診いただければと思います。